



CubeSoft
Concurrent Universal Bright Engine



Cube PDF ユーザーズマニュアル

2010.9.23 第3版

1. PDFの作成

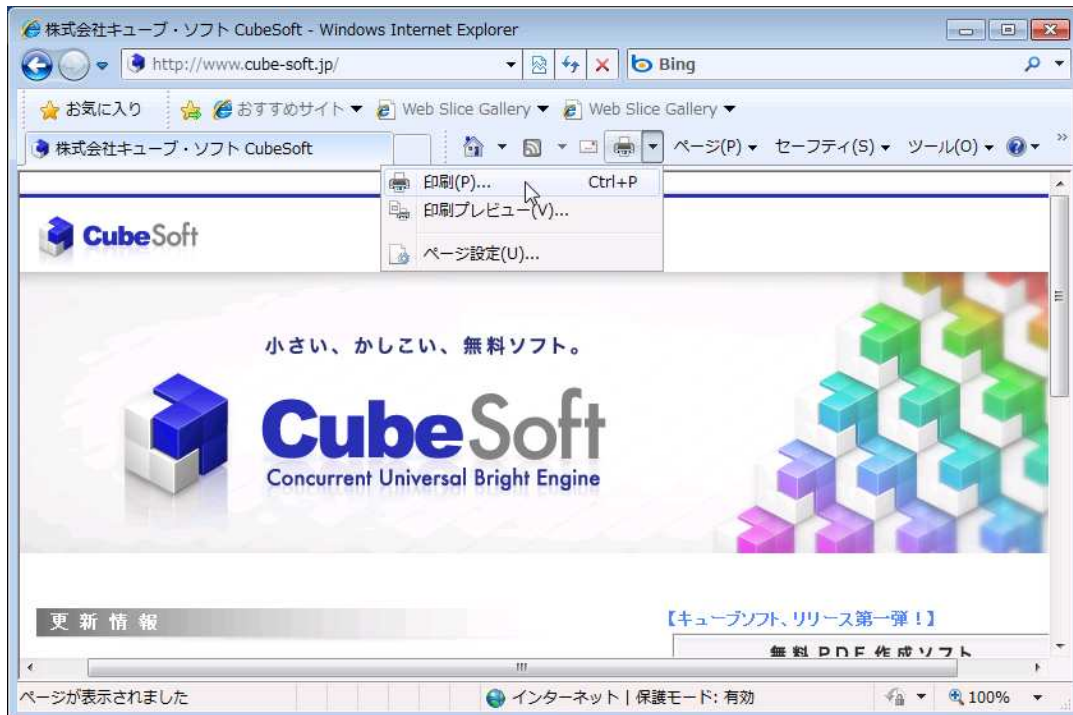
CubePDF は、PDF プリンタとしてインストールされます。

そのためCubePDF を使用してご利用のコンピュータのどのプログラムからでも文書を PDF へ変換することができます。

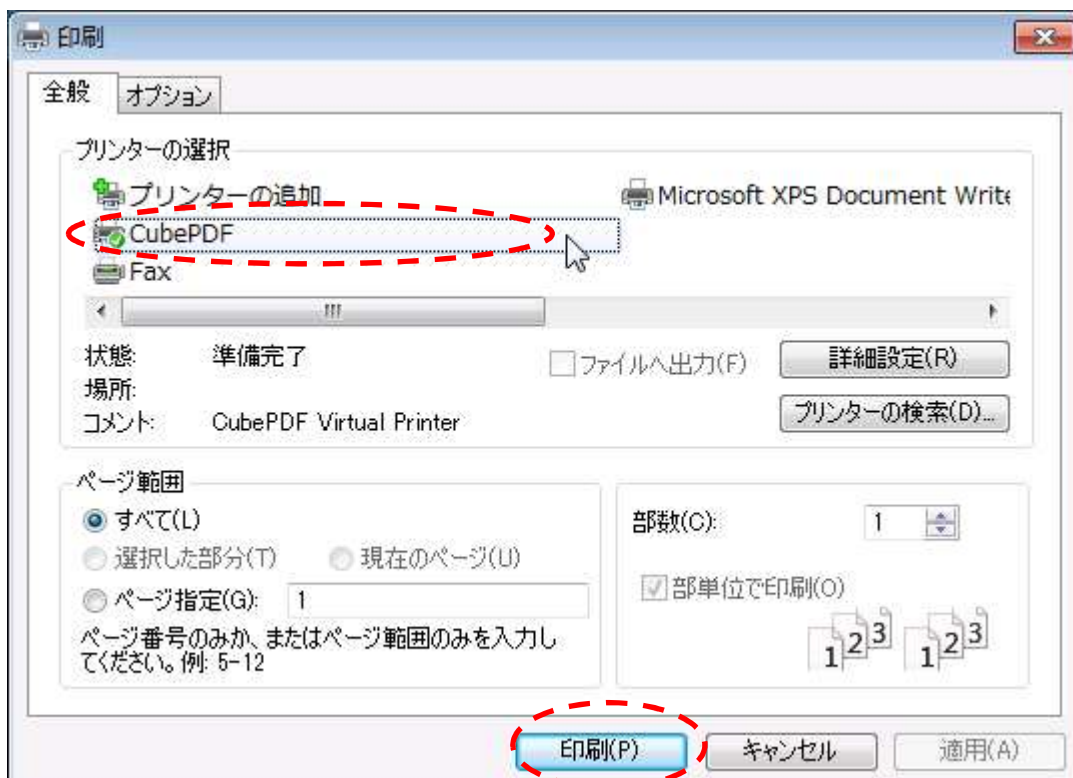
PDFの作成

1. 文書のプログラムで「印刷」を選択します。

(図はInternet Explorerの例)



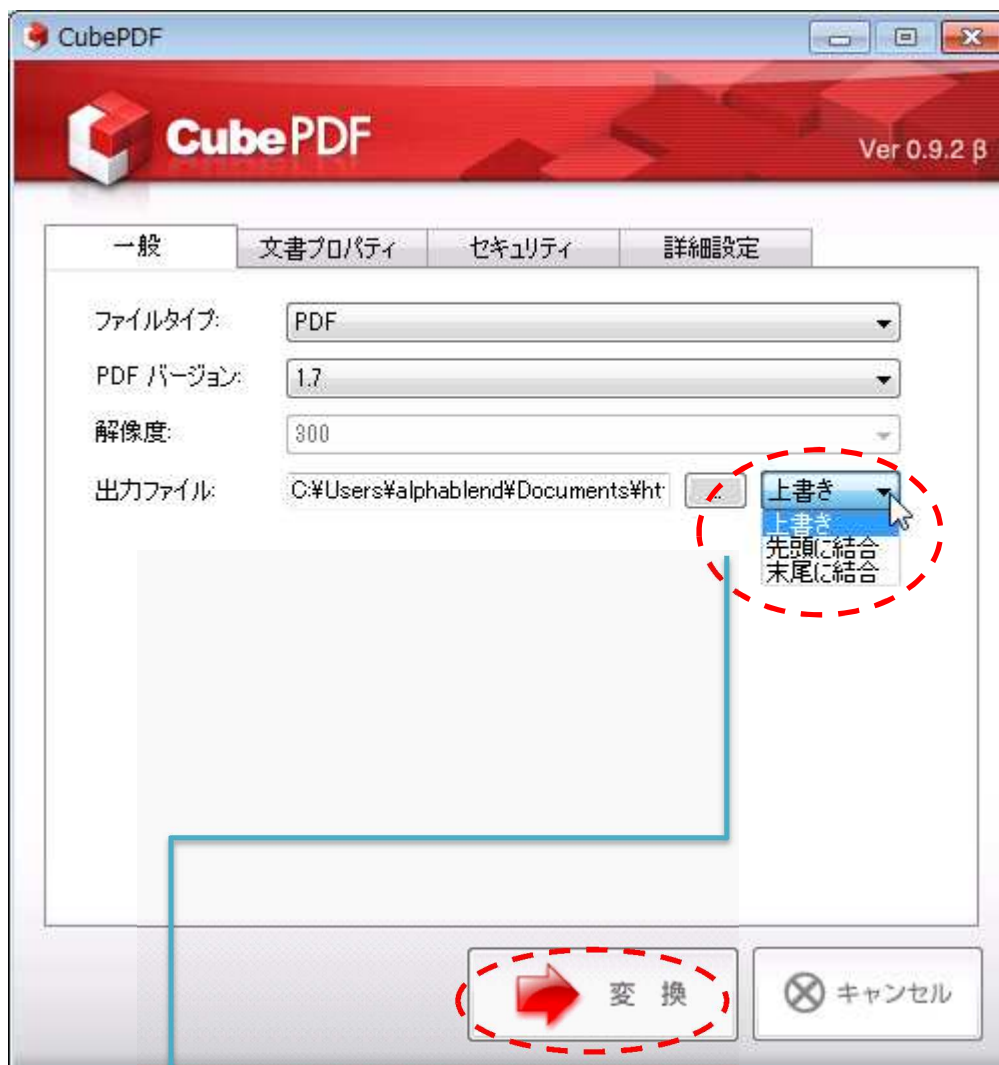
2. 利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、[印刷] ボタンをクリックします。



3. 新しいウィンドウにて次の画面が表示されます。

「出力ファイル名」欄で保存箇所を確認し、「変換」をクリック。

(保存箇所を変更する場合は、「出力ファイル名」の右欄にある「…」ボタンをクリックして変更してください。)



※PDFファイル生成時の形態

既存のPDFファイルに結合することができます。

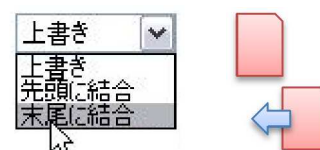
「上書き」で変換すると指定したファイル名でPDFファイルを生成します。



「先頭に結合」で変換すると指定したPDFファイルの先頭に追加したPDFファイルを生成します。



「末尾に結合」で変換すると指定したPDFファイルの末尾に追加したPDFファイルを生成します。



基本的なPDFの作成の仕方は以上です。
詳細設定については、次項にて解説していきます。

2. CubePDFのオプション設定

2-1. 一般

ファイルタイプから、PDF形式以外にも各種形式に変換することが可能です。プルダウンで形式を選んでください。



PDF形式の場合、PDFのバージョンを選択することができます。
現在、最新はver.1.7なので、1.7でご利用されることを推奨します。



JPEGなど画像形式を選択した場合、解像度を選択することができます。



2-2. 文書プロパティ

タイトルや作成者などの情報を登録することができます。



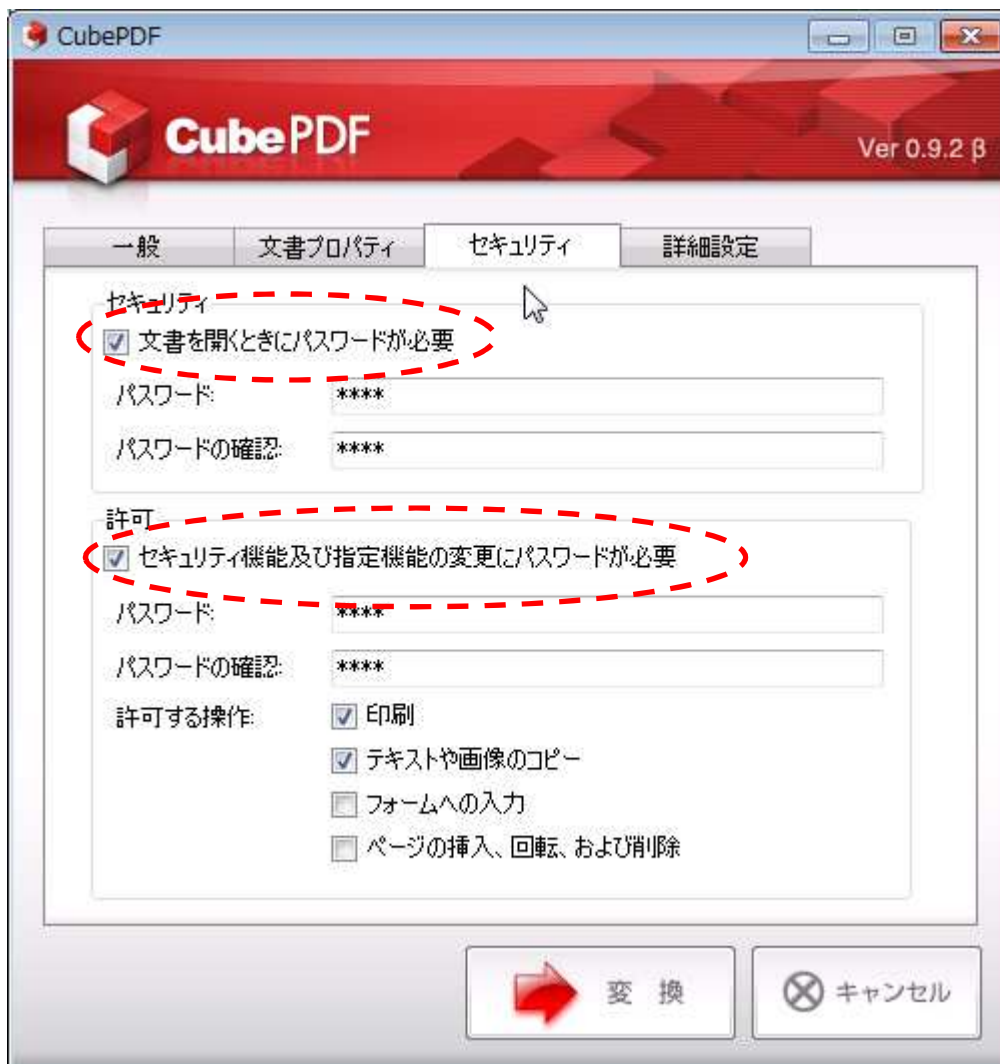
登録した情報は、作成したPDFのプロパティから確認することができます。



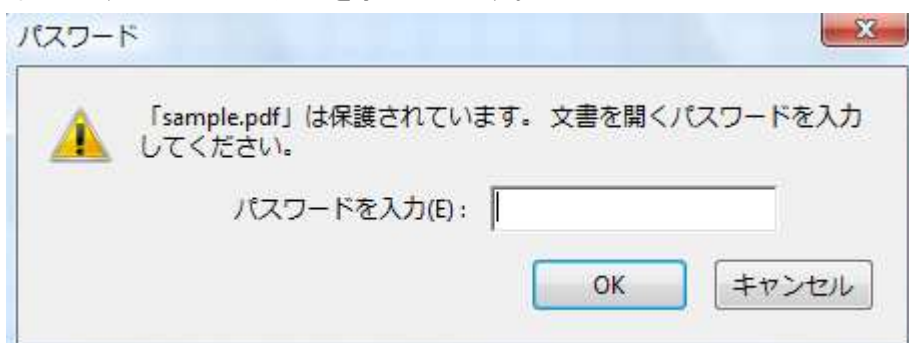
2-3. セキュリティ

作成した文書にパスワードをかけることができます。
文書を開く際にパスワードをかける場合は、「文書を開くときにパスワードが必要」にチェック。
「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力してください。

また、PDF文書の印刷やコピー、回転などの操作を行えるかどうか、パスワードで許可を与えることができます。
「セキュリティ機能及び指定機能の変更にパスワードが必要」にチェック。
「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力し、許可する操作を選択してください。



パスワードがかかっている操作を実行しようとする、
このような画面が出、パスワードの入力を求められます。



2-4. 詳細設定

ダウンサンプリング(画像内のピクセル数を減らすことで容量を軽くします)を設定することができます。

平均化…作成した文書のピクセルが平均化され、文書全体を指定解像度の平均ピクセルカラーに置き換えます。

バイキュービック…加重平均を使用してピクセルカラーを決定します。この方式では、通常ダウンサンプリングの単純な平均法よりも滑らかになります。反面、バイキュービック法は最も時間がかかります。

サブサンプル…文書全体の中心にあるピクセルが選択され、全体が選択されたピクセルカラーに置き換えられます。サブサンプル法は処理時間が大幅に短縮されますが、滑らかさは劣ります。



オプション



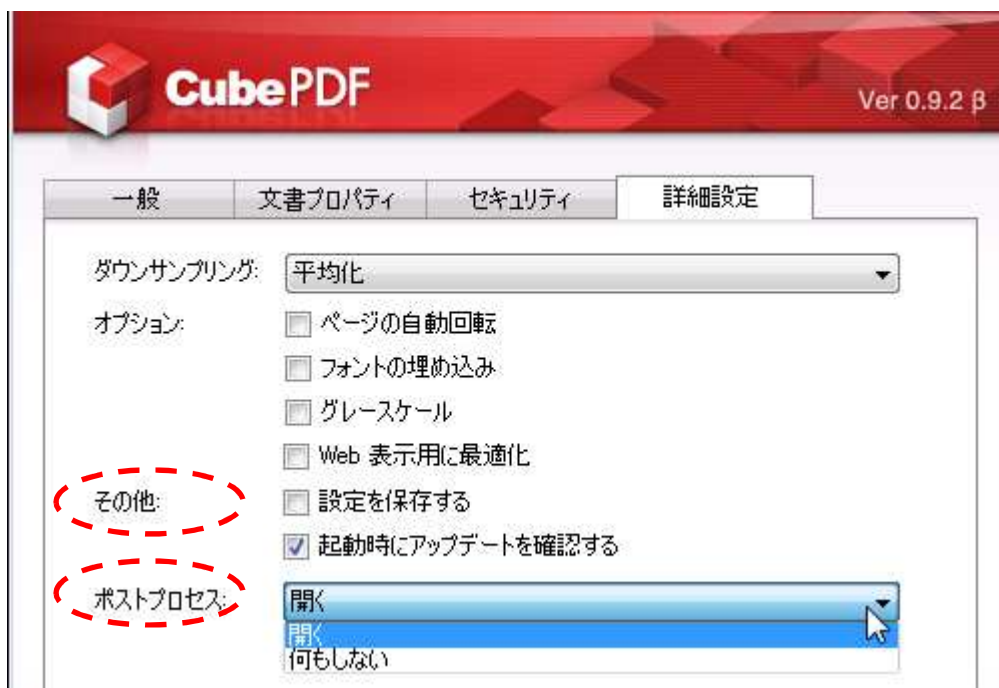
ページの自動回転…縦横の比率から、画面に表示しやすいよう最適な方向に自動で回転します。

フォントの埋め込み…フォントの埋め込みを行うと、文章で使用しているフォントがない環境でも表示できるPDFを作成することができます。しかし、ファイルサイズが大きくなります。

グレースケール…白黒でPDFを作成します。白黒印刷される際に便利です。

Web表示用に最適化…PDFを作成した際に、WEB表示に最適な縮尺を判断して表示します。

その他



設定を保存する…「設定を保存する」にチェックを入れると、「文書プロパティ」、「セキュリティ」以外の全ての項目の選択状態が保存され、次回からはその状態で CubePDF が起動します。

初期状態ではオフ(チェックなし)です。

詳細は <http://blog.cube-soft.jp/?p=84> を参考にしてください。

アップデートの確認…「起動時にアップデートを確認する」にチェックを入れると、CubePDFがバージョンアップされた際に更新案内が表示されます。初期状態ではチェックされています。

ポストプロセス

ポストプロセスは、初期設定では「開く」になっています。

「何もしない」を選択すると、PDFファイルを作成した際に、作成したPDFが開きません。ファイルとして保存されるのみとなります。

3. CubePDFの拡張機能(アドバンスモード)

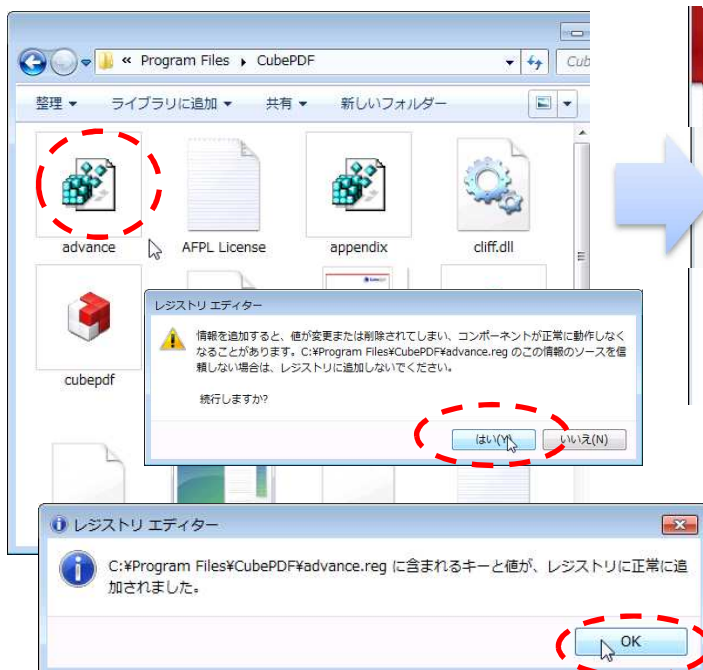
3-1. 他のアプリケーションとの連携

ポストプロセスは、初期設定では詳細設定タブにあります。
「開く」「何もしない」のみ選択することができます。



3-2. アドバンスモードにするとUIが拡張されます

CubePDFフォルダにあるadovence.regをダブルクリック。



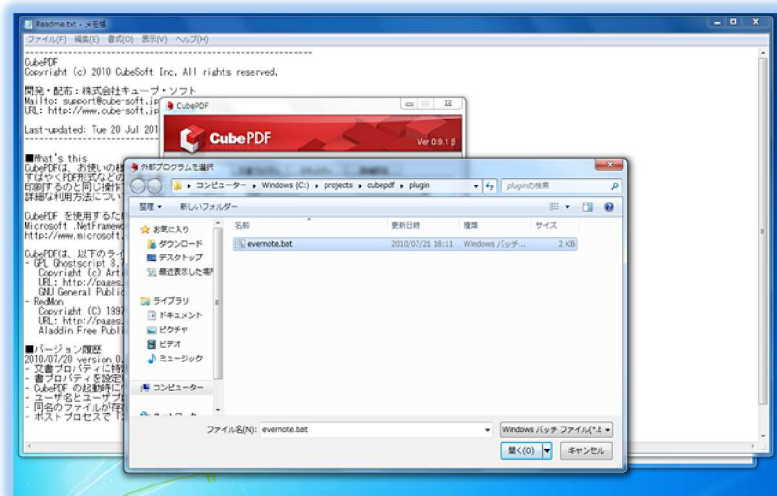
「ポストプロセス」が「詳細設定」から「一般設定」に移動し「ユーザープログラム」が追加されています。これを利用することにより連携することが可能です。



次ページではEVERNOTEの連携例を紹介します。
また、詳しい説明はブログを参考にしてください。

3-3. 例 EVERNOTEとの連携

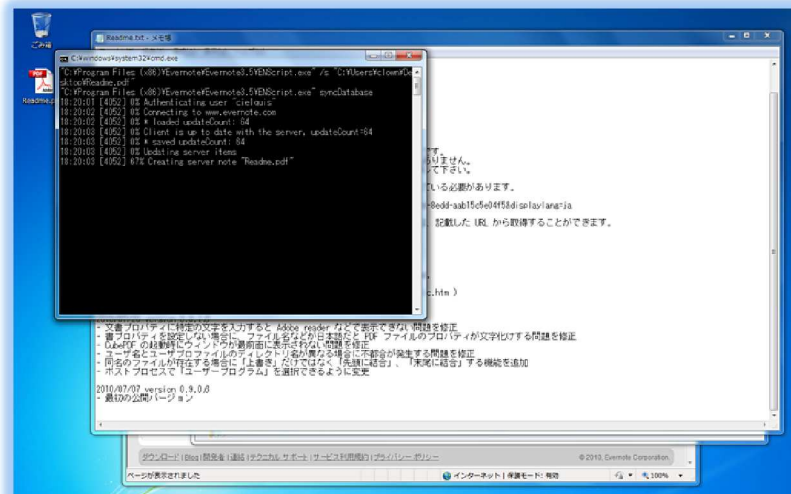
アドバンスモードでEVERNOTEと連携させた場合です。



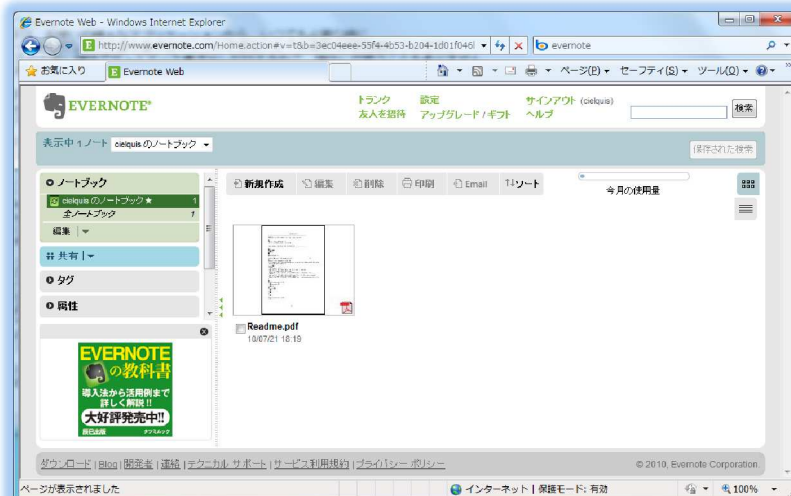
連携用には bat ファイルを使用します。

連携用バッチファイル説明については以下を参考に。

<http://www.cube-soft.jp/cubepdf/faq.php?no=4>



Evernote for Windows を起動せずにアップロードまでスムーズに。

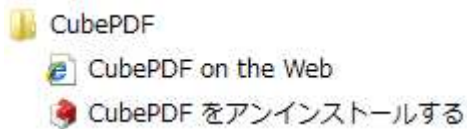


CubePDFのアンインストール

アンインストールには、2通りの方法があります。

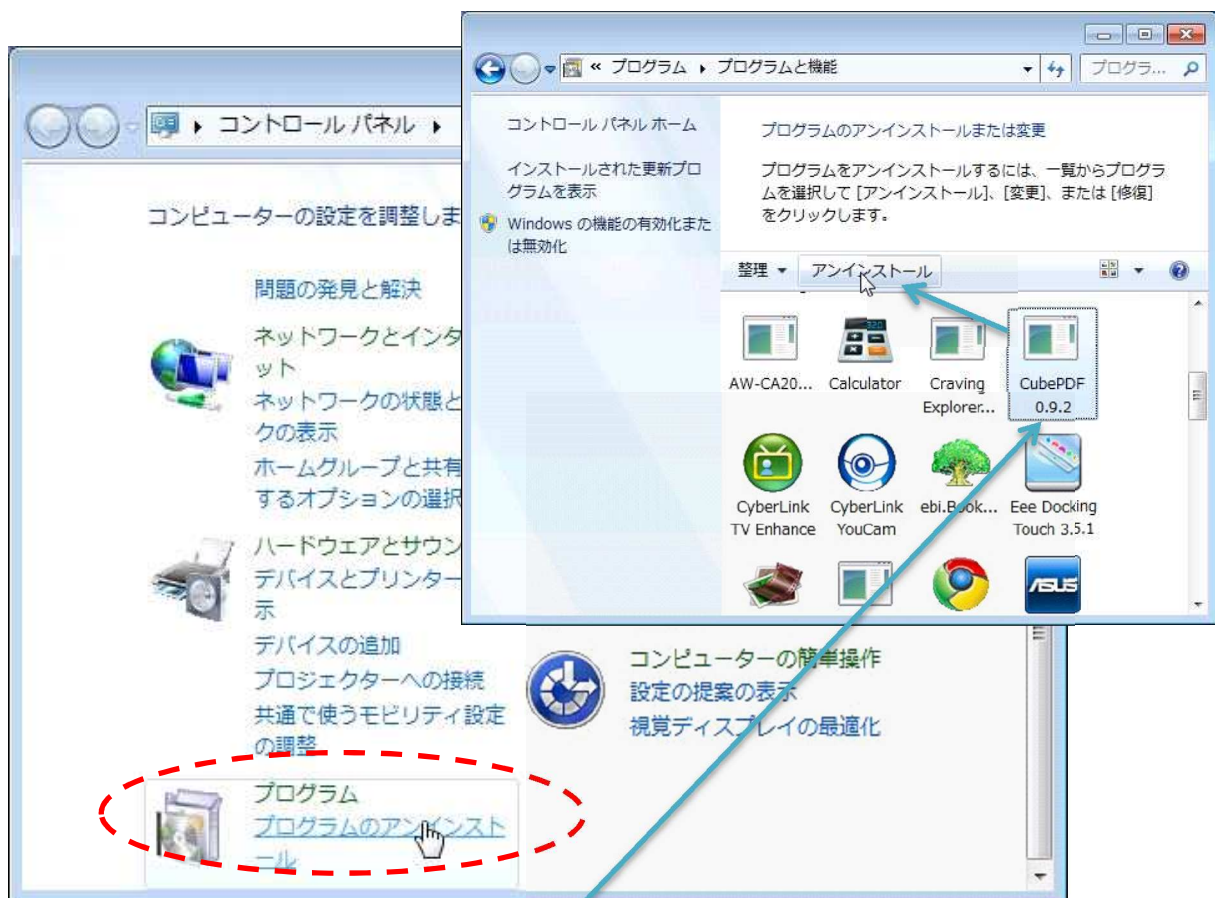
1. スタートメニューからアンインストールする方法

「スタートメニュー」内の「CubePDF」→「CubePDFをアンインストールする」をクリック



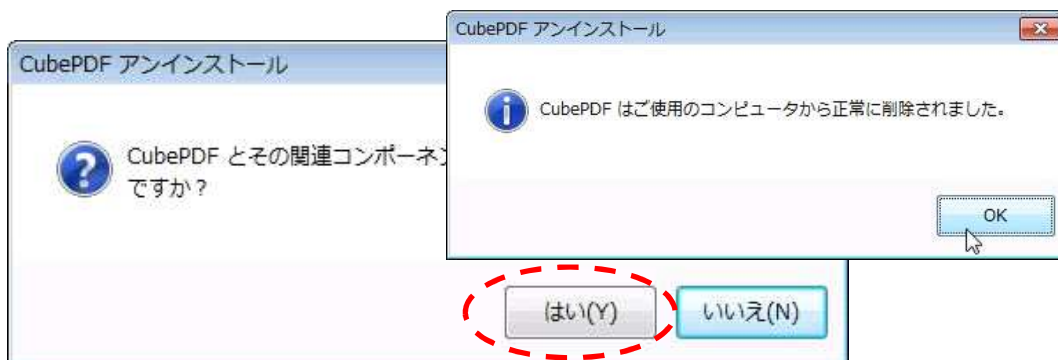
2. コントロールパネルよりアンインストールする方法

「コントロールパネル」内より削除するの「プログラム」→「プログラムのアンインストール」(Windows 7 の場合)



CubePDF0.9.2 のアイコンをクリックしアンインストールをクリック。

どちらの場合も、下の画面が表示されますので、「はい」をクリック。



Ex. Tips

1. 生成するPDFの画像を綺麗にする

利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、[詳細設定] ボタンをクリック

用紙/品質タブの詳細設定をクリック

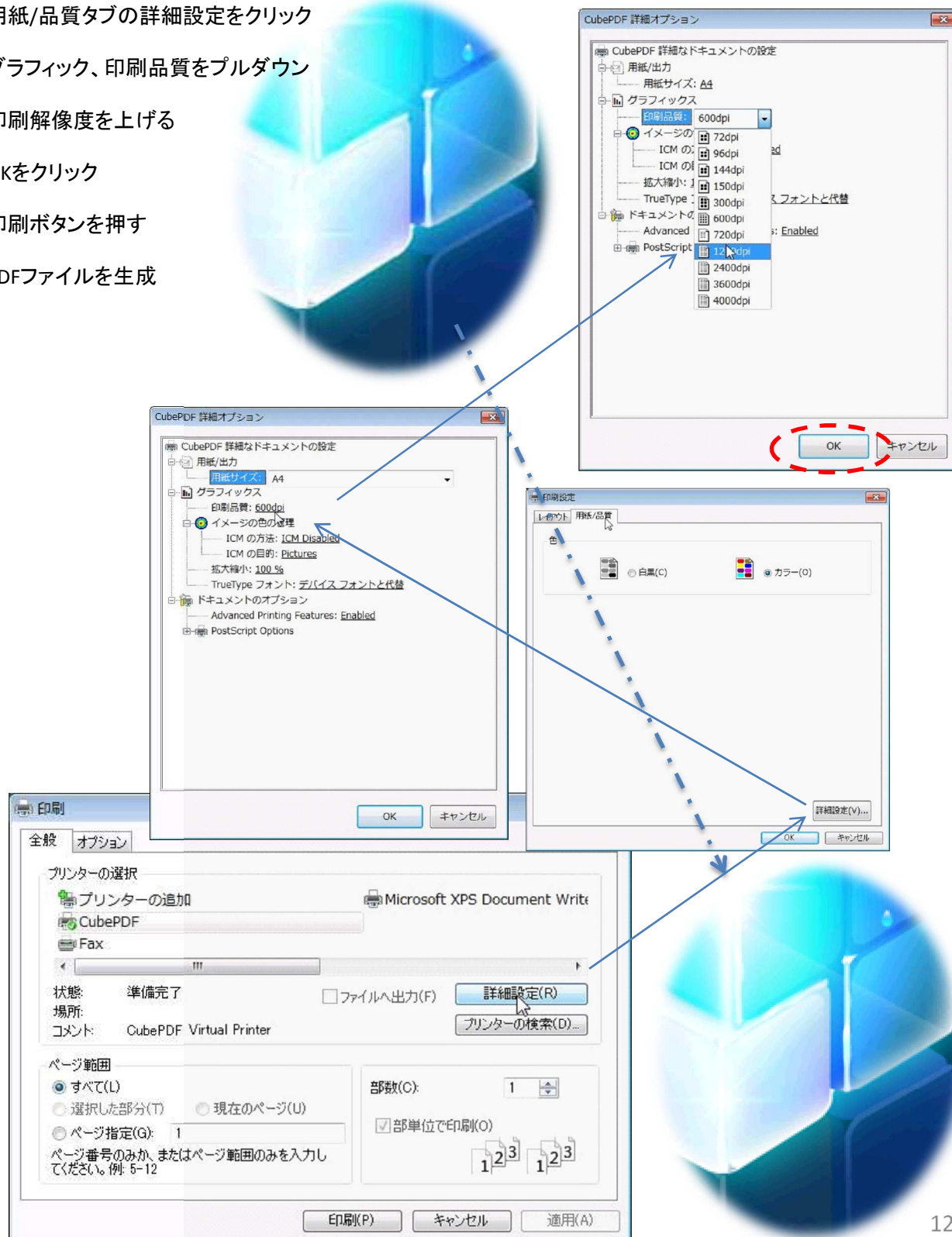
グラフィック、印刷品質をプルダウン

印刷解像度を上げる

OKをクリック

印刷ボタンを押す

PDFファイルを生成



Ex. Tips

2.文章ファイルから直接PDFを生成

コントロールパネルのハードウェアとサウンドから「CubePDF」プリンタを右クリックしショートカットを作成

デスクトップにショートカットが生成される

生成されたショートカットに文章ファイルをドラッグアンドドロップ

CubePDFダイアログが開く

印刷ボタンを押す

PDFファイルを生成



■本ソフトに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

site: <http://www.cube-soft.jp>

email : support@cube-soft.jp